

目 次

はしがき iii

I 有機農業に対する消費者の理解と関心に関するアンケート調査

- 1 消費者アンケート調査の目的 2
- 2 調査の方法 3
- 3 調査結果 5
 - (1) 回答者の属性 5
 - (2) 有機農業のイメージと理解 6
 - (3) 有機農産物や関連商品の利用の実態 9
 - (4) 有機農産物の購入への意向 14
 - (5) 原発事故で購買行動は変わったか 22
 - (6) 有機農業の推進のために必要なこと 25
 - (7) 有機農業への理解促進のために必要なこと 26
- 4 小括 29
 - (1) 消費者の有機農業への理解 29
 - (2) 有機農産物の入手について 29
 - (3) 震災・原発事故を経て 30
 - (4) 有機農業推進に必要なこと 30

II 放射能汚染問題と生産者・消費者の交流

- 1章 放射能汚染問題と生産者・消費者の交流についてのヒアリング等調査の目的 32
- 2章 原発事故が有機農業の生産者、消費者に与えた影響についてのヒアリング報告 33
 - 1 福島県の事例より 33
 - (1) 有機農業生産者への影響と取り組み——大内信一さんへのインタビューから 33
 - (2) 消費者団体への影響と取り組み
——生活協同組合あいコープふくしまへのインタビューから 33
 - 2 茨城県の事例より 34
 - (1) 有機生産者への影響と取り組み——魚住道郎さんへのインタビューから 34
 - (2) 消費者団体への影響と取り組み
——常総生活協同組合 大石光伸さんへのインタビューから 35
 - 3 ヒアリングを終えて 35
- 3章 放射能汚染問題への有機農業団体の生産者・消費者の取り組み事例 37
 - (1) 有機農業と相容れない原子力技術 37
 - (2) 放射能汚染問題への対応を探る 38
 - (3) 大震災・原発事故をのり越えるために 39

- (4) 落ち葉・堆肥への取組みと、生消交流 40

Ⅲ 生消交流と「有機」表示保証に関する調査報告

- 1章 生消交流と「有機」表示保証に関する調査の目的と背景 44
- 2章 「オーガニックフェスタ in あきた」における有機農家と消費者の信頼形成の試み 52
- 1 はじめに 52
 - 2 「オーガニックフェスタ in あきた」の概要 52
 - 3 「有機」に関する基準の策定 53
 - 4 「秋田方式」の概要 54
 - 5 「秋田方式」の評価 57
- 3章 生消交流と「公開確認会」——パルシステム神奈川ゆめコープの取組み 58
- 1 はじめに 58
 - 2 消費者の産直交流の概要 59
 - 3 地域参加の事例——小田原食と緑の交流事業の展開 60
 - 4 「公開確認会」の取組み 62
 - 5 まとめ 65
- 第4章 生産者と消費者の交流を通じた相互理解の取組み事例——NPO 法人食と農のまちづくりネットワーク・コラボ食堂を中心とした取組み（長野県上田市）—— 66
- 1 はじめに 66
 - 2 NPO 法人の立ち上げまで 66
 - 3 NPO 法人化へ 67
 - 4 事業化の進展 72
 - 5 福島からの被災農家受け入れ活動 73
 - 6 まとめ 74
- 5章 国際有機農業運動連盟（IFOAM）が推進する参加型有機認証（PGS）の理念と方法、取組みの動向 75
- 1 はじめに——IFOAM と PGS 75
 - 2 翻訳資料 「参加型有機認証」（PGS）とは？ 76

資 料

有機農業に関する消費者意識調査

- 付表1 インターネットアンケート誘導画面文面 84
- 付表2 質問表 85
- 付表3 全質問 単純集計表 112